



鹿児島県立伊佐農林高等学校

～地域の資源・特性を活かし、様々な協働に取り組む～

【団体・活動の概要】

本校は、農林技術科、生活情報科の2学科、生徒数160人の専門高校です。農業や林業、また商業、家庭の専門に関する学習を展開しています。伊佐地域は、伊佐米や伊佐ヒノキの産地ですが、農家の高齢化や農林業生産者の減少、木材産業の低迷などの現状があります。そこで本校では、農村や森林の持つ多面的機能を理解した上で、地域の資源を活用した地域活性化策を計画し、活動を実践しています。

【活動の内容】

伊佐地域の関係団体とグリーンツーリズムの現状と課題を協議し、民泊受入先と協働で、県外の修学旅行生を受入れ、本校生との交流を行いました。また、伊佐市給食センターとの協働により、実習で生産した食材を使用した学校給食の献立メニューを提案し、市内の公立小中学校の児童・生徒約2,200食を提供しました。その他にも、旅行業社と協働により、鹿児島市内でツアー客を募集し、生徒たちがガイド役を担う農林実習体験・観光バスツアーを実施しました。



京都府立亀岡高等学校2年生70人が、2泊3日の日程で民泊体験のために伊佐市を訪れ、受入式が行われました



2軒の民泊受入先と修学旅行生10人、引率の先生方5人が来校し、学校見学や農業実習体験、昼食用のピザ作りを行いました



給食の提供日に、本校の生徒が小学校へ出向いて合同給食会に参加、児童に給食献立の紹介を行いました



鹿児島市などから20人のツアー客が伊佐市を訪れました。曾木の滝では、事前に案内の指導を受けた生徒たちが説明を行いました